

やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員



いつわ清隆

だより

第92号

令和7年4月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



令和7年2月27日、多くの皆さんがあつ聴する中、一般質問を行いました。

桜の花も満開に咲きそろい、爽やかな季節となりましたが、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお喜び申し上げます。2月議会の本会議で2月27日に質疑含めて60分の質問を行いました。

火葬場の建て替え計画は一步前進

【主な質疑内容は2・3ページに記載しています】

火葬場を建て替えるには、建設場所が決まらなければ前に進まないので、早急な場所の選定を今日まで議論をしてきました。

今回の2月議会で「新火葬場整備室」の新設、「新火葬場整備室調査費」が上程されました。質疑の中で用地測量場所は現在の火葬場の駐車場とその周辺、建設場所は1.2年内に決定する必要があるとの答弁がありました。

私は1年でも2年でも早く「故人の皆さんを安らかに見送りができる施設」の建て替えに向けて積極的に取り組みます。

老朽危険空き家の行政代執行

私は、令和2年9月7日に発生した台風によつて2階部分が半壊し、瓦や建材が市道・周辺の民家に飛散したことから、今日まで地域の皆さんと長崎市へ所有者に対して行政指導で老朽危険空き家の撤去を求めてきました。令和3年3月には当時の市長にも現地調査に同行頂き現地で要望を行い、長崎市も手順を踏んで、立ち入り調査・指導・勧告・命令の措置の手続きを行い、倒壊により不特定多数の人や車両に危険を及ぼす可能性があるとして、空き家対策特別措置法に基づき措置する、行政代執行で解体する方針が示されました。行政代執行は2015年の法施行以来、長崎市内では3例目になります。

今後も市民の皆さんが「安全に安心して生活ができる環境づくり」の実現に向けて積極的に行っていく決意です。皆様方には更なるご指導・ご支援をよろしくお願ひします。

長崎市議会議員 五輪清隆

令和7年度一般会計予算(総額:約2,413億円)

52議案を可決・同意!

令和7年2月議会



主な予算の内容

◆商店街等プレミアム付商品券発行支援費補助金
: 3億6,000万円

事業者と市民の生活を支えるため、商店街等が地域の実情に応じて実施する商品券等の発行を支援し、地域経渉の活性化を図ることとともに、電子による商圖

◆プロスポーツ応援事業
: 3,083万7千円
(V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカ)
市内在住の小中学生親子ペアのホームゲーム観戦やパブリックビューイングの実施。

◆乳児家庭全戸訪問費
: 1,341万3千円
県営アパート建替えに併せ、再整備予定の川口公園について、公園設置管理制度を活用した整備を行う。

◆市民会館施設整備事業費
: 1億3,560万円
同会館は昭和48年の建設から51年が経過している。老朽化が顕著となつていて、老朽化が顕著となつている。老朽化が顕著となつている。

◆公園等施設整備事業費
: 1億5,252万4千円
定期接種の対象疾患に高齢者等帯状疱疹予防接種費

育環境の把握を行い、必要な家庭にはその後の支援制度を活用した整備を行う。

生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育環境の確保を図る。

定期接種の対象疾患に高齢者等帯状疱疹予防接種費



市民会館(体育館)

型の投資的経費の影響により、歳入総額以上に歳出総額も大きく増加していることから、戦略的な収支改善などに積極的に取り組んだが、令和7年度は79億円の基金を取り崩す予算編成となり非常に厳しい財政運営となっている中、長崎市で建設が予定されている中、長崎市で建設が予定されいます公共施設は、これから約10年間で火葬場・文化施設・体育馆・プール等があるが、資材費の高騰や人手不足により建設費用が増額になることから、建設予定の公共施設に優先順位を付けるべきと思いますが見解を求めます。

空き家は大きな社会問題で、長崎市でも多くの空き家が点在している状況の中、空き家の調査を行っていますが調査後の対応について伺います。

特に老朽危険空き家は深刻な問題で周辺に居住する住民の皆さんは常に危険と隣合わせで、大雨や台風の時に瓦ななどの飛散で被害を受けても、所有者へ請求することも出来ず、修理は被害を受けた方

がしなければならない状況です

が長崎市内の老朽危険空き家

4 老朽危険空き家の対応について

答弁 空き家は所有者が適切に管理することが原則ですが、長年放置され周辺の生活環境への影響が社会問題になる中、長崎市空き家等対策計画を策定し、危険な空き家の除去や改修、活用できる空き家の流通などを中心に取り組んでいます。

今後、空き家調査で判明した老朽危険空き家は重点的に除去に向けて所有者への働きかけを行います、老朽危険空き家は現在160戸を把握しています。

再質問 把握している老朽危険空き家は、今後どのように対応していくのか。

質問 江平中学校は昭和26年に開校されましたが、生徒数の減少により、令和3年3月末に閉校となり60年間に亘りました。

閉校後は現在、民間保育所の仮設園舎として今年3月まで一時貸付けを行っています又、災害時にはペットの避難所としても試験的に活用されていますが、今後どのように活用して行こうと検討されているのか伺います。

長崎市立江田中学校の活用について

A black and white photograph capturing a wide-angle view of a large industrial facility. The foreground is dominated by the roof of a building with a prominent, textured metal surface. In the middle ground, several long, rectangular industrial buildings with multiple windows are visible, some featuring flat roofs and others with slight overhangs. A tall, dark chimney stands prominently on the right side of the complex. The background reveals a range of mountains under a cloudy sky. To the left, a valley floor is visible with some vegetation and what appears to be a road or path. The overall scene suggests a heavy industrial presence in a semi-rural or mountainous area.

令和3年に閉校になった江平中学校



1. 人口減少による財政運営の影響について
 2. 長崎市火葬場の建て替え計画について
 3. 公共施設建設に係る優先順位について
 4. 老朽危険空き家の対応について
 5. 旧・長崎市立江平中学校の活用について



主な質疑内容

1. 人口減少による財政運営の影響について

質問 長崎市の人口は平成29年以降年間5000人規模で減少し、昨年10月時点では約38万8千人、8年間で約4万2千人減少しています。

同規模の他都市と比較すると
非常に厳しい中で、特に自主
財源はとぼしく、国からの交
付税で運営していると言つて
も過言ではありませんが、人
口が5千人減少することによ
り、個人市民税、国からの普
通交付税・消費税交付金の影
響について伺います。

質問 令和4年9月に「新火葬場整備基本構想」を策定され、建設場所や基本計画作成に向けて、長崎市の付属機関として「長崎市火葬場整備計画審議会」が設置されて検討されていますが、いまだに建設場所は決定されていないが今年4月の職制改正で自治振興課

年次	人口 各年10.1現在	人口動態						人口 増減	
		自然動態			社会動態				
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減		
平成29年	421,612	3,140	5,229	▲2,089	13,613	16,981	▲3,368	▲5,457	
平成30年	416,419	2,999	5,167	▲2,168	13,150	15,814	▲2,664	▲4,832	
令和元年	411,421	2,782	5,243	▲2,461	12,399	15,332	▲2,933	▲5,394	
令和2年	409,118	2,638	5,185	▲2,547	12,185	14,538	▲2,353	▲4,900	
令和3年	403,950	2,550	5,455	▲2,905	11,197	13,682	▲2,485	▲5,390	
令和4年	399,029	2,449	5,840	▲3,391	12,191	13,721	▲1,530	▲4,921	
令和5年	393,597	2,186	5,959	▲3,773	12,180	13,761	▲1,581	▲5,354	
令和6年	388,490	1,904	6,041	▲4,137	12,307	13,460	▲1,153	▲5,290	

普通交付税は約9万3千円となり、合計で約16万8千円減少する見込みですので、5千人で換算した場合は、毎年約8億4千万円減少する見込みとなります。

今後も今までのよう

に人口減少が続くよう

であれば、財政規模も

段々縮小していくため、

財政規模に見合った市

民サービスへの見直し

や廃止を行わなければ

ならず、結果的に今までどおりの市民サービスが提供できなくなると見込んでいます。

今年度予算に「新火葬場整備調査費」に用地測量費が計上されているが調査する場所について伺います。

答弁 審議会においては現在地を含む候補地の現地踏査を行い、現在地が交通アクセスの良さをはじめ、これまで市営火葬場として運営してきた歴史的な背景や現在地が持つポテンシャルの高さを評価する意見をいただきましたので現在地の用地測量を行います。

3. 公共施設建設に係る 優先順位について

入る令和17年度までの整備を目指しているので、目標が10年後に迫る中、建設地決定から完成まで5～7年かかるので、建設場所は「この1・2年のうちに決定する必要があります。

要望 1月18日に開催された住民説明会で出された意見・要望については速やかに対応して信頼関係を構築して頂きたい。

3. 公共施設建設に係る優先順位について